

アドビシステムズ社、 クリエイター向けにモバイルコンテンツ制作環境を提供する ADOBE DEVICE CENTRAL CS3 を発表

CREATIVE SUITE 3 に組み込まれた新しいツールとして提供、
モバイルコンテンツの作成を簡素化

【2007年5月8日】

アドビシステムズ株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：ギャレット イルグ（Garrett J. Ilg））は本日、Adobe® Creative Suite® 3 ファミリー（別途リリース参照）に、革新的なモバイルコンテンツ開発ツール「Adobe Device Central CS3（アドビ デバイス セントラル CS3）」を組み込んで、提供が開始されると発表しました。

アドビシステムズ株式会社は、本日よりモバイル向けサイトにおいて、Adobe Creative Suite 3 の発表を記念したキャンペーン、製品情報、新機能の紹介、アップグレードを分かりやすく解説したアップグレードナビゲーター、およびイベント/セミナーに関する情報を掲載しています。詳細は下記 URL を携帯端末からご参照ください。

<http://cs3.jp>

Adobe Device Central CS3 は、携帯電話や携帯家電向けにリアルタイムで表現豊かなインタフェース、モバイルアセット、アプリケーション、およびビデオコンテンツを開発するクリエイターの作業効率と生産性を大幅に向上するために開発された各種製品同梱のコンポーネントです。本ツールは、Adobe Creative Suite 3 の Design、Web、および Production Premium Edition、および Adobe Flash® CS3 Professional、Adobe Photoshop® CS3、および Adobe Premiere® Pro CS3 などの単体製品に組み込まれます。

クリエイターは、Adobe Device Central CS3 により、様々な機器ごとに複雑化されたモバイル向けのコンテンツ制作ワークフローを統合し、コンテンツを容易に作成することができます。これにより何百万人の開発者の創造性あふれる能力が発揮され、通信事業者はモバイルユーザー向けに表現豊かなコンテンツによるデータサービスを提供することができます。定期的に更新される携帯電話やモバイル機器の詳細なプロファイルを利用することにより、クリエイターは初めて、使い慣れたオーサリング環境において、制作したコンテンツのレビューや表示テストを瞬時に行うことができますようになります。さらに、Adobe Creative Suite 3 ファミリーの高度な連携により、Adobe Device Central CS3 は携帯電話やモバイル機器向けのオーサリング作業を大幅に簡素化することができます。

アドビシステムズ社 モバイル & デバイスソリューションズ担当シニアバイスプレジデントであるアル ラマダン（Al Ramadan）は、「クリエイターはこれまで、様々な携帯電話やモバイル機器上でのコンテンツの表示テストに、予算と時間の半分以上を費やしてきました。Adobe Device Central CS3 では、モバイル機器ごとにワークフローを分けることなく、従来よりもはるかに短期間で、最適化された魅力あるコンテンツを制作することができます」と述べています。

Sony Pictures 社の Digital Entertainment 制作担当バイスプレジデントであるスコット ナー

ス (Scott Nourse) 氏は、「Adobe Device Central CS3 は強力なツールであり、革新的なデザインを、極めて容易にモバイルの世界に導入することができます。Device Central が、モバイル機器向けのコンテンツ開発とテスト作業に革新をもたらし、これによって、当社のコンテンツを世界中のモバイルユーザーに提供できることに大きな期待を寄せています」と述べています。

Adobe Device Central CS3 には、Nokia 社や Sony Ericsson 社を含む大手 OEM メーカーや、Verizon 社をはじめとする通信事業会社の、200 種類を超えるモバイル機器のプロファイルを含むライブラリーが内蔵され、クリエイターはこれを使用することによって各機器の機能、制約、および特徴などの詳細を一目で参照することができます。プロファイルのアップデートは大手 OEM メーカーや通信事業会社から無料で定期的に提供され、クリエイターは常にモバイル機器に関する最新データを利用することができます。実際の環境に非常に近いモバイル機器のスキンによって、デスクトップ上でコンテンツの見栄え、性能、および動作をレビューおよびテストすることができることから、開発時間を短縮することができます。バックライトや太陽光の反射などのシミュレーションも、様々な照明下でのコンテンツ表示の最適化に役立ちます。

株式会社 CELL 代表取締役副社長 / CTO である坂本 義親氏は、「コンテンツ開発者の立場から、端末上でのコンテンツ検証によって得られる、全ての端末への最適化に必要な情報を Adobe Device Central CS3 に提供させていただきました。仕様上の基本的なプロファイルにこれらの情報が加わったことで、実際の端末により近い環境をデスクトップ上で体験できるようになります。この画期的なツールを使うことで、クリエイターは今まで端末検証に割いてきた多くの時間を、リッチで新しいコンテンツの開発にあてることができ、より多くのユーザーが今までにない感動的な体験をすることができるでしょう。Flash を初めとする様々なプラットフォームを構築してきたアドビ システムズと、そのプラットフォーム上で数多くのコンテンツを開発してきた当社が協力することで、より一層モバイルコンテンツ市場自体が活性化されることを願っています」と述べています。

Adobe Device Central CS3 のエミュレート機能によって、クリエイターは実際の端末操作と同様に Adobe Flash Lite™コンテンツを閲覧、操作することができます。このエミュレータによってユーザーインタフェース、アプリケーション、およびモバイルメディアが期待通りに動作することを確認でき、また性能やメモリー消費を推計することができます。新しいモバイルプロジェクトは Adobe Flash CS3 Professional、Adobe Photoshop CS3、または Adobe Premiere Pro CS3 のいずれのソフトウェアにおいても制作を開始することができます。Adobe Device Central CS3 を使用して対象となる機器やその他関連する詳細設定を行うことができます。一貫したユーザーインタフェースにより、Adobe Device Central CS3 と Creative Suite 3 ファミリー製品間での行き来を円滑に行うことができます。

Adobe Device Central CS3 は、Adobe After Effects® CS3、Adobe Dreamweaver® CS3、Adobe Flash CS3 Professional、Adobe Illustrator® CS3、Adobe Photoshop CS3、Adobe Photoshop CS3 Extended、Adobe Premiere Pro CS3、および Adobe Bridge CS3 を含むすべての Edition の Creative Suite 3 に含まれています。

Adobe Device Central CS3 の詳細は以下の URL をご参照ください。
<http://www.adobe.com/jp/products/creativesuite/devicecentral/>

アドビ システムズ社について

アドビ システムズ社は、時間や場所、利用するメディアや機器を問わず、あらゆるユーザの、アイデアや情報との関わり方に変革をもたらしています。アドビ システムズ 株式会社はその日本法人です。同社に関する詳細な情報は、Web サイト <http://www.adobe.com/jp> に掲載されています。